

事前のお知らせ

Yori  
Dori  
Midori  
よりのどりみどり

## 日本のアニメはここからはじまった

～收藏品企画展「ねりま発！日本のアニメ」を開催します～

と	き	平成28年4月23日(土)～6月12日(日) 午前9時～午後6時 ※月曜休館		
と	こ	ろ	交通案内	西武池袋線 石神井公園駅 下車 徒歩 15分

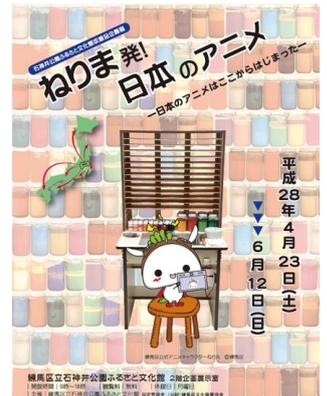
23日から、石神井公園ふるさと文化館（石神井町5丁目）で、收藏品企画展「ねりま発！日本のアニメ」を開催します。（観覧無料）

本展では、練馬区とアニメーションの関わりをより深く知っていただくため、当館收藏品の中から、セル画やアニメーション制作道具などの実物を展示します。日本のアニメーションの歴史や練馬区でアニメーション産業が発達した経緯、アニメーション制作技術のいま、むかしなど、練馬を起点として発展した日本のアニメについて紹介します。特に、商業アニメーション制作技術の確立の過程や、そこで活躍した人々の創意工夫を実際に使用していた道具類から重点的に紹介します。

また、当時を知る関係者の話を聞くことができる「トークイベント」の他、小・中学生を対象にした体験講座も開催します。

ぜひ、取材していただきますようお願い申し上げます。

当イベントのHPはこちらです。[http://www.neribun.or.jp/web/01\\_event/d\\_furusato.cgi?no=5239](http://www.neribun.or.jp/web/01_event/d_furusato.cgi?no=5239) )



▲ 企画展のチラシ

### 【主な展示物】

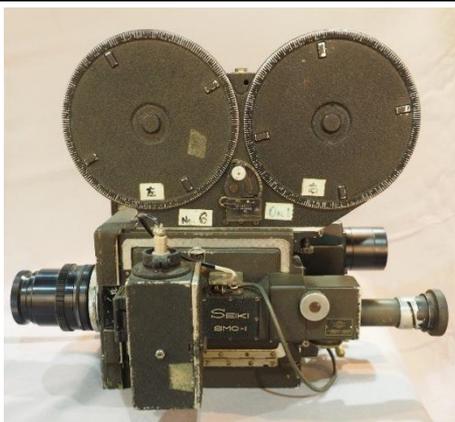
企画展示室：セル画、背景画、絵コンテ、道具類など約100点  
常設展示室：約60年前のマルチプレーン撮影台（区登録文化財）  
練馬を舞台に描かれた作品「四月は君の嘘」の紹介



◀ マルチプレーン撮影台

### 【アニメーション撮影に使用したカメラ】（昭和30年製造）

東映動画の第1号カメラ。実写撮影用のカメラを利用したものの、ファインダーとレンズの位置関係が一直線になっているため、撮影台に置いたセル画などを真上から覗き込んで撮影しなければならない。以降のアニメーション撮影用のカメラは、側面から確認ができるようファインダーの位置が改良されている。  
※正面のモータードライブは後付けのもの



### 【彩色機と道具類】

セル画彩色のため、アニメーション制作会社で使用されていたもの。デジタル制作に移行した現在では、ほとんど使用されなくなった。



## 【会期中のイベント】

### ◎トークイベント「日本の長編アニメーションはここから始まった」

日時：5月8日（日）午後2時～4時

講師：小田部 羊一（作画監督、キャラクター・デザイナー）

なみき たかし（アニメーション史家、フィルムコレクター）

相磯 嘉雄（アニメーター、撮影監督）

定員：100名（4月12日より電話による事前申込制。）※定員になり次第受付終了



▲ 小田部羊一氏



▲ なみきたかし氏



▲ 相磯嘉雄氏

### ◎アニメのお仕事体験（作画体験）

日時：5月22日（日）A:午後1時～ B:午後2時30分～

※各回1時間程度

講師：平松 岳史（株式会社動画工房 アニメーター）

対象：小・中学生向け

定員：各回15名（4月12日より電話による事前申込制。）

※定員になり次第受付終了



▲アニメのお仕事体験の様子  
（イメージ）

### ◎アニメの原理を知る「パラパラアニメ教室」

日時：6月5日（日）A:午前10時～ B:午後1時～

※各回1時間半程度

講師：NPO 法人アニメーションミュージアムの会

対象：小・中学生向け

定員：各回15名（4月12日より電話による事前申込制。）

※定員になり次第受付終了



▲パラパラアニメ教室の様子  
（イメージ）

### ◎「展示解説」

日時：4月28日（木）・5月4日（水・祝）・6月9日（木）

午後2時～2時30分

解説者：当館学芸員

申込：当日会場受付



▲展示解説の様子  
（イメージ）

【問い合わせ】石神井公園ふるさと文化館

電話 03-3996-4061